

雀館自主防災会が県優良自主防災組織表彰を受賞

1月29日、平時における自主防災活動と令和5年7月大雨災害時の防災活動に貢献されたことから、雀館自主防災会が「秋田県優良自主防災組織表彰」を受賞しました。

この表彰は、特に優れた活動を行っている自主防災組織を表彰し、その活動を広く紹介することで、県内の自主防災組織の充実・強化と地域防災力の向上を図ることを目的としています。今年度は、雀館自主防災会を含む県内の3団体が表彰されています。



2月10日、受賞報告に来庁された雀館自主防災会会長の石井正さん

伝統料理への関心を深めよう 五城目高校で「だまこ鍋」調理実習

1月28日、五城目高校で2年生（生活福祉コース）の生徒を対象に「だまこ鍋調理実習」が実施されました。

当日は、講師として「町米消費拡大地域活動推進委員会」の方々がお招かれ、生徒たちは、だまこ鍋の起源や調理に用いる道具について学び町の郷土料理への関心を深めました。

実習では、講師の方々からのアドバイスを受けながらだまこ鍋を調理。完成後、生徒たちは、自ら作っただまこ鍋を食べながら講師の皆さんとの交流を楽しみました。



講師の方とだまこ鍋を調理



自ら作っただまこ鍋を実食！



渡邊町長が任期満了を迎え退任 20年間にわたる在任期間を振り返る



1 職員から花束を受け取る渡邊町長
2 最後のあいさつを述べ在任期間を振り返る渡邊町長

2月24日、渡邊彦兵衛町長が、任期満了を迎え退任されました。渡邊町長は、早稲田大学教育学部卒業後、福祿寿酒造株式会社の経営を経て、平成17年の五城目町長選挙で初当選。以降、5期連続で町長を務められました。

2月21日に町役場2階正庁で行った退任式で、渡邊町長は以下のとおりあいさつを述べ、20年間にわたる在任期間を振り返りました。

【渡邊町長退任のあいさつ】

平成17年、ここで町長就任のあいさつを行いました。今こうして退任のあいさつをするにあたり、改めて時間の早さを実感いたします。

20年前、「協働のまちづくり」を掲げ、これまで様々な事業に取り組んでまいりました。その結果、五城目町の様々な取り組みが全国から注目され、多くの方が町を訪れています。また、新型コロナウイルスの流行や町政史上最大の大雨災害などに見舞われながらも、町一丸となって危機を乗り越えてきました。これまで職務を続けてこられたのは皆さまのおかげです。誠にありがとうございます。

最後に、五城目町のさらなる発展をご祈念申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

目指せ合格！五城目第一中学校で合格祈願の会



全員合格目指して頑張ろう！（写真中央部が伊藤さんと八木下さん）

1月29日、五城目第一中学校3年生を対象に高校入試へ向けた合格祈願の会が行われました。

当日は、イトマン元気村の伊藤萬治郎さん（新畑町）と高性寺住職の八木下真全さん（築地町）があいさつを述べ、最後まであきらめずに頑張り抜くことの大切さを伝えました。

合格祈願の品として、伊藤さんからせんべいと鉢巻き、八木下さんからお守り、株式会社あつたか五城目から鉛筆を贈られた生徒たちは、合格を目指し全力で受験に挑むことを誓いました。

町芸術文化章授章式・町文学祭表彰式で14名が受章

令和6年12月1日、五城館で「町芸術文化章授章式」が行われ、3名の方が受章されました。また、同日開催された「町文学祭表彰式」では、短歌3名、俳句4名、川柳4名の計11名の方に賞状と記念品が伝達されました。

【町芸術文化章授章式で受章された皆さん】

栗山正一さん（矢場崎）

平成20年に「五城目ハーモニカ同好会」を結成。以降、数々のステージで活動されてきたほか、町芸術文化協会事務局も務められました。現在は、会報「芸文ごじょうめ」の編集長として活動されています。

工藤久子さん（岡本一区）

「大日本茶道学会」の会員として、地域の行事や施設でお茶会を開き、他の会員の指導・育成にあたるなど、精力的に茶道普及に向けた活動をされています。また、長年の活動により宗号※許状を取得されています。

※宗号：弟子をとり茶道を教える資格を持つ人に与えられる名前。



写真左から、栗山さん、工藤さん、久保市さん。

久保市テツエさん（八郎湯町）

昭和44年に「生花 松生派」へ入門。これまで、町産業文化祭や町芸文協事業に多くの作品を出展されてきました。現在も、湖東厚生病院の正面玄関に四季折々のお花を生けるなど、精力的に活動されています。